

第 72 期第 3 回男女共同参画推進委員会議事録

日 時：2017 年 3 月 3 日（金）10：00-14:00

場 所：日本物理学会 大会議室（東京都文京区湯島 2-31-22 湯島アーバンビル 4 階）

出席：板倉（委員長）、野尻（副委員長）

鹿野、遠山、中山、永宮、福島、本橋、山本（以上委員）

陪席：藤井（会長、オブザーバー）、森（オブザーバー）

糸井、佐野、藤原、細越、（次期委員予定）

事務局出席：根岸、宮野、岡村

欠席：高安（委員） 曹（次期委員予定）

1. 第 72 期第 2 回委員会議事録の確認（板倉委員長）

- ・ 前回議事録の意見待ち。委員会 HP にアップロード済である。

2. 第 73 期新委員予定者の紹介（板倉委員長）

- ・ 自己紹介がされた。

【議題・報告等】

1. 物理学会年会シンポジウム詳細の検討

■ 内容確認とパネル討論の議題について

- ・ 鹿野委員よりシンポジウムパネルディスカッションのテーマの原案、
6-1：男女共同参画の問題点とは？（昔の問題、今の問題、昔も今も問題）
6-2：男女共同参画活動でよかった他への波及効果？
6-3：学会における男女共同参画委員会の役割とは？

が説明され、6-1、6-2 を 1 つにまとめて 2 つのテーマとすることで承認された。

パネル討論テーマ原案

- ・ 板倉委員長から藤井会長、川村副会長へご出席の依頼をすることとなった。
- ・ 内容について、どういうイベントをやったら来てくれるかということをおわりに」のコーナーに入れることが提案され、鹿野委員がとりまとめすることが決定した。

■ ポスターセッション会場でのポスター作成の割振り

- ・ 男女共同参画推進委員会設立 15 年を記念してポスター発表をすることが説明された。掲示場所は決定次第、鹿野委員からメール連絡される。シンポジウムのチラシも配布し、ポスターは大会終了後に男女共同参画推進委員会の web ページに掲載すること、フィードバックのためポスターに関する反響があれば鹿野委員に報告することが確認された。
- ・ 今後のシンポジウム担当の役割について、シンポジウムが本セッションと重なるた

め聴講者が 70～80 名に留まっており委員会の活動を会員に周知しフィードバックをいただく手段として必ずしも有効でないため、今後はポスター会場に委員会活動を紹介するパネルを終日展示し、シンポジウムは2～3年に1度のペースまたは緊急に取り扱うべきテーマが生じた時に開催するように変更することが提案された。

- 今後のシンポジウムのテーマとして、物理分野で活躍している女性の体験談を聞けるようなセッションを開催することが提案された。
- ポスター会場での掲載申込は、男女共同参画の活動報告と託児室報告の2枚を鹿野委員から大会担当者に連絡済である。今回の阪大会場は、C会場、K会場、S会場に分散しているため今後調整する予定である。プログラム掲載については、今後の検討課題とする。
- 次のシンポジウム担当と大会担当との連携を73期に引き継ぐこととなった。
- 第73期第1回男女共同参画推進委員会で更に継続審議をすることとなった。

2. Gender Summit10 について

- 2017年5月の東京で開催される Gender Summit10 の内容について再確認した。ポスターは野尻副委員長が担当、アブストラクトは提出済。ポスター発表は参加費3万円で可能であり、現在160名が登録済である。夏学ポスターも展示したら良いのではないかと意見が出された。

3. 学協会連絡会幹事学会引き受け準備について

- 幹事学会引き受けについて、正式に2017年3月30日第2回運営委員会で審議・承認の予定であることが報告された。
- 机上配布資料を基に、体制の準備や業務について説明がされた
- 73期1回目の委員会までに担当委員を選定することが確認された。
- 2018年の候補会場として東京理科大学、東京大学、山楽会館の費用を調査することが決定され、シンポジウムの会場イメージなどは73期2回目の委員会で検討することとした。

4. 2017年「学協会シンポジウム」

- 日程、会場が伝えられテーマは5月末までに決まる予定であることが説明された。
日程：10月14日（土）
会場：東京大学 本郷キャンパス

5. 日物応物連絡会委員の推薦

- 5月に GenderSummit10 が控えているため全メンバーが留任することが決定された。責任者の任期3年（IUPAP7月までの期限）以降の副責任者を決定する必要があるこ

とが報告された。

6. アテナプログラム

- ・アテナプログラムの経緯と、藤井会長と女性研究者の面談が行われたことについて HP に記事を掲載し、会誌にも男女共同参画だよりとして掲載することが決定された。
- ・今後はアジアの女性研究者の来訪記事を年数回のペースで継続的に掲載することが決定された。

7. 今後の海外出張に関する提案

- ・男女共同参画関連の国際会議が増加傾向にあり、分担金、参加登録料、旅費等の参加経費の負担も大きいことから今後は参加する国際会議について一定の基準を設けることが提案され承認され、原案を基に今後検討をすすめることが決定された。
- ・具体的には、国際会議の参加選択基準原案として、Women in Physics のセッションが国際的な組織委員会によって運営されているか、男女共同参画委員会の活動を踏まえつつも、新しい内容の発表を行うことができるかなどを判断し、会議の運営主体、運営体制、参加費用等についての委員会としての基準を設けることで合意した。

8. 理事会へ提案と調査内容の審議

- ・物理学会内のダイバーシティ関係定期調査を行うことが提案され承認された。
- ・調査可能範囲、必要経費について事務局で調査する。

【報告】

1. 大学の物理教育

- ・大学の物理教育 Vol. 22, No. 3 (2017 年 3 月 15 日刊行)「物理と社会シンポジウム「ダイバーシティの中での物理教育」(*2016 年 3 月のシンポジウム報告) が掲載されたことが報告された。

2. Gender Summit 10 の準備状況

審議 2 で報告済みのため略

3. 理事会等報告

- ・第 604 回～第 607 回理事会へ男女共同参画推進委員会からの審議・報告事項が報告された。

4. 国際連携

- ・APPCWIP13 について報告された。

5. 男女共同参画学協会連絡会報告

- ・第 14 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムについて報告され、アンケートの回答者が 1845 人増加し、日本物理学会会員の回答率も高かったことが報告された。

6. 女子中高生夏の学校 2016 年について報告

1) 夏学 2016 の活動報告

- ・夏学実行委員会が中央大学後楽園キャンパスに変更された。活動報告として、アンケート解析、夏学タイムスの発行配布、TA へ感謝状送付、メンター・アンバサダー活動、夏学 PR 動画の作成、将来の職業選択としてキャリア系統図作成、教員研修プログラムの実施検討、実施資料を共有ファイルに保管。

2) 夏学 2017 の準備 (8 月 5 日～7 日開催)

- ① 3 月 9 日に中央大学で 2017 年度第 1 回実行委員会開催予定の議題として 2017 年度予算組、プログラム大枠の設定、講演講師リスト作成、企画委員の確定と依頼、募集要項の再検討、学生 TA 設定、応募者の多分野化のための TA とのミスマッチの対応などが報告され、TA を引き受けてくれる外国人留学生探しへの協力が各委員に呼びかけられた。

- ② 国際交流 (物理学会委員が主担当) での変更点

留学生が 1 日目の夜から参加しなくてもよいようにプログラムを減らす。

3) 夏学 2018 以降に向けて

財源が JST の事業であるため、今後は団体からの参加費徴収や寄付を募ること、その方法も検討課題であることが報告された。

7. 「やっぱり理科が好き！」

- ・Conferences for Undergraduate Women in Physics(CUWIP)について報告された。

8. セラミックスカフェのご案内

- ・山本委員がセラミックスカフェに参加し、ランチをとりながら意見交換もでき、またアンケート結果がハッキリしており、次からは企業の資金援助が増えたことが報告された。今後は、インフォーマルとして始める、あるいは企業展示あたりから広げるのも良いのではないかと報告された。今後の検討課題とする。

9. HP 関連

- ・HP へアップロード、または修正があるときは、委員長と広報担当の間宮委員と事務局 HP 担当の宮野職員に確認をすることが報告された。

以上